

亘理町地域おこし協力隊 活動報告

亘理町地域おこし協力隊
石塚 佑太

目次

- 自己紹介
- 活動の目的
- 活動報告
- 活動の成果と反省点

自己紹介

石塚 佑太（イシヅカ ユウタ）



- お父さんの影響で3歳からスケートボードを始め、今年でスケボー歴22年目。
- 2013年AJSA全日本アマチュア選手権大会を優勝して、14歳でAJSA公認プロ資格を獲得。
- 2021年にサポートさせてもらっていたデッキブランドからボードに自分の名前が入った、シグネチャーモデルが発売された。
- 2021年4月亘理町地域おこし協力隊へ応募し、2021年に着任。
- スケートボードを通じて亘理町の文化や歴史、魅力を伝えるためスクールを開いています。

活動の目的

鳥の海公園スケートボードパークを活用したスクールやイベント、パークのPR等、スケートボードによる交流人口拡大を図るとともに、亘理から世界に挑戦できる人材の育成につなげる。

活動報告

1. スケートボードスクール
2. 国内・国際大会への出場
3. イベント開催
4. 広報活動

1. スケートボードスクール

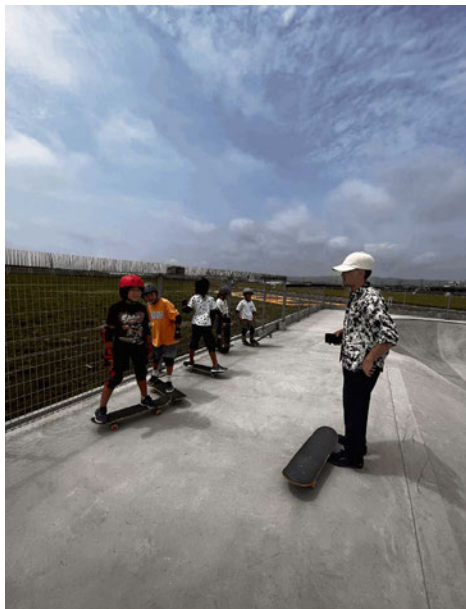
鳥の海公園スケートボードパークでのスクール

※2023年7月に（WtoW official skate team）を結成

- スキルアップや大会出場のバックアップなどスケートボーダー人材育成を中心に取り組みました。
興味を持った人も気軽に参加できる環境づくりを心掛けました。
- 毎週日曜日 10:00～11:00、11:15～12:15の2部で開催
- SNS（WtoW）にてスクールの情報発信、鳥の海スケートパークのPR地域おこし協力隊の活動状況を発信しました。
フォロワー 222人



【スケボー教室開催風景】



町内児童館での体験会

町内の児童館で、スケートボードに興味を持ってもらうきっかけづくりのため、体験会を開催しました。

(10月10日・11月18日・12月29日開催)

参加した児童たちから、「楽しかった」という声をたくさんいただき、スケートボードの楽しさを教えることができました。



能登半島スケボ一体験会

地域復興の一環として、被災後の地域活性化を図るため、2024年8月31日に亘理地域おこし協力隊として石川県能登町に行き、スケボ一体験会を開催しました。

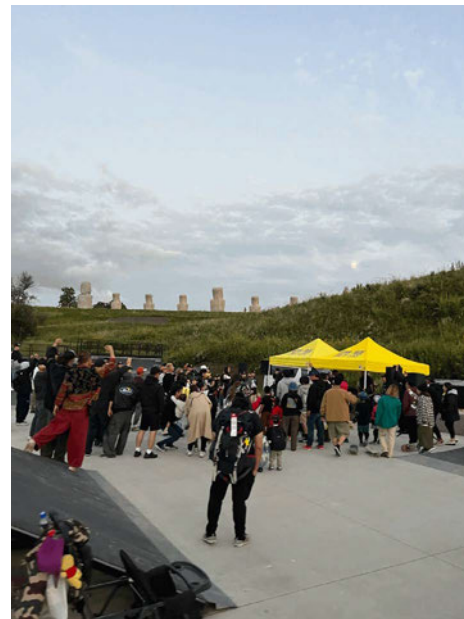
- スケボーを通じて、地元住民との交流やスケボーに興味を持てようことができました。
- 参加人数 20名



2. 国内・国際大会への出場

鳥の海スケートボードパークや亘理町をPRするため、2024年9月15日に北海道札幌市のモアイスケートパークで開催された大会「RE:BIRTH」に出場。

大会を通じて多くの人と交流することができ、PRすることができました。



3. イベント開催

東北未来芸術花火会2024（2024年9月28日開催）の会場内でスケートボードの体験イベントを開催しました。



- スケートボードに興味を持ってもらい、始めるキッカケを作るため、対象者を絞らず、幅広い層に体験してもらいました。
- 初めての方向けに乗り方やバランスの取り方、プッシュなどを教えました。
- 当日は参加したお子さんの人数は15名でしたが、保護者を含めると30人以上になりました。



4、広報活動

スケートボードスクール開催日時の情報やスクール風景をSNSで発信し、鳥の海スケートボードパークを広めました。

SNSを通じて新しい参加者が亘理町に訪れて、町や鳥の海公園スケートボードパークの認知度向上につながりました。

今年の成果、活動の振り返り

【成果】

- 毎週日曜日にスクールした事によって、新規のお子さんが増えたと思います。
- 地域のメディアやSNSでの取り上げにより、スケボーへの関心が高まり、地域の認知度向上にも繋がった。
- 2024年度は年間を通して25回のスクールを開催し、延べ約220名の参加者が集まりました。

【活動の振り返り】

亘理町のPRやスクールを開催したことによって、鳥の海スケートボードパークの認知度が広まりました。

児童館でスケートボード体験会をして、亘理町の子ども達と交流できスケートボードの興味や楽しさを知ってもらう事が出来ました。